

## 若宮校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時	平成30年8月1日(水)	19:00~20:30
場所	若宮公民館	
司会・進行	加地連合自治会長	
参加者数	男 34人	女 9人 合計 43人



### 1. 市の重点事業に関する質問

質疑応答(要約) 特になし。

### 2. 連合自治会共通の市政課題

質疑応答(要約)

(防災部長)

備蓄品については、今後生涯学習センター若宮教室にて管理してもらえるのか。

(市民部長)

備蓄品については、生涯学習センター若宮学習館3階(旧音楽準備室)にある。現状については、資料①市主導の備蓄計画の内容のものを準備している。備蓄食料については、南海トラフ地震が発生した際に家屋の全壊などによって避難されるときに、非常持出品を持参できなくなる方を対象に、一食分の非常食及び生活必需品の準備を行っている。市全体でいえば、12,000食の備蓄があるが、それを各校区に配分させていただいている。基本的には避難される方が、普段からご自宅に備蓄していただいて、それを持参していただくかたちが基本になるが、どうしても家屋の全壊等で、持出不可能となる方がおられるので、こういうかたちで備蓄をさせていただいている。これにつきましては、平成27年度から備蓄を進めており、31年度に概ねの備蓄が完了する見通しとなっている。それ以

後については、粉ミルクは毎年、他の食品については、賞味期限があるので、4年程度を目途に、市のほうが入れ替えを行う。

場所については、引き続きこの館のほうに備蓄し、入れ替えも市で行う。

(出席者)

若宮学習館は将来、色んな改築で、市からの説明では、一階は児童、二階は生涯学習、三階はものづくりというような関係になると聞いている。そうすると、二階は生涯学習関係になる。備蓄関係について、音楽準備室は必ず備蓄で置いておくということか。

(市民部長)

今後改築等が進んだ際には、どこに備蓄すればいいかということは、改めて地域の方にも相談させていただきながら、そちらの方へ移していくというようにしてまいりたい。

### 3. 校区課題

課題名 ( 生涯学習センター開設までの動向 )

質疑応答 (要約)

(加地連合自治会長)

平成32年開設予定である生涯学習センターについて、現在教室の使用は、少年少女合唱団「めばえ」、惣開公民館とごく僅かであり、使用申請方法や使用目的が周知徹底されていないのではないかと。他の任意団体等も市役所に申請して使用したいという申し出があると言われているが、私たちとしても、使用申請方法や使用目的について周知したいが、どうなっているのか。また、運動場や体育館については、今後も学校開放運営委員会(公民館)の継続した管轄となるのか。また、生涯学習センター完成の青写真は、「若宮を元気にする会」の提案である、子供から大人までが活用できる基本コンセプトを重視してくれるのか。

(教育長)

跡地活用については、様々な議論があった。現在は、これから先改修に向けて、様々な計画を練っている段階であるが、それまでの間は生涯学習センターの若宮学習館という位置づけで、社会教育施設として運用していくのが現状である。小学校としての機能が現在は無い。それゆえに、今は目的がない施設として残っているわけで、それでは皆さんの利用に供することが困難な状況であった。それに対して、改修が終わるまでどうやったら、少しでも多くの皆さんに利用していただけるかという観点から考えて選んだ結論が生涯学習センターの学習館という位置づけだった。生涯学習というのも、高齢者や全ての世代の人が学んだり活動したりすること全てを指す。それゆえに、色んな人が利用できるような場所として学校の跡地を使いたいということが、今回、このような仕組みを作った理由だ。今現在の利用は、エアコンも無い。或いは、他の学校へ、それまで若宮に置いてあった備品を移転したものもある。それゆえに、十分な施設ではないので、全ての皆さん方に活用してくださいと促すことは、正直なところ行っていないのが現状である。現在、新居浜市

の少年少女合唱団の練習であったり、地域の皆さんで取り組んでいる子供たちへの体験活動であったり、或いは惣開公民館との連携で、ウナギのつかみ取りをプールで行うなど、そういった取り組みが現在行われている状況である。また、学校開放の延長線上で、体育館と運動場については、地域の皆さんにご活用いただいている状況である。今の施設は、あまりにも皆さんに利用していただくには整備ができていない状況なので、それでも使っていきたいという思いに対しては、ぜひ、積極的に受け入れていきたいというのが現状のスタンスである。ここで議論したときも、学校がそのまま寂れてしまって、誰も通ってこない、誰も使わない、閑古鳥が鳴くような状況は避けたいという、皆さんの思いが最初にあったので、そのような対応をしていきたいと思っている。若宮公民館を経由してでも、或いは生涯学習センターに直接申し込みいただいても、或いは教育委員会社会教育課に言っただけでもかまわない。今の施設を利用したいという方にお応えできる対応をしていきたいと思うので、皆さんにも共通認識を持っていただいて、ぜひ、使える範囲で使っていただけるような対応にしてもらえたらありがたいなと思っている。

続いて、学校開放をこのまま延長できるかという指摘については、今後の施設の改修によって、どのような目的で施設を使っていくかということが、まだ確定段階ではないと理解している。そのなかで、どのような施設になるか見えた状態でないと、絶対にこれというお答えはできないけれども、現在の状況を見たときに、体育館にしても運動場にしても、それに置き換わる施設はないと思っている。社会待遇、健康づくりといった面で、運動を親しむことは大事なことであろうかと思うので、現段階では、できるかぎり前と同じような利用形態を継続していきたいと考えている。なお、今後、新しい施設の所管についても、教育委員会が直接管理するかということも、まだ、不確定要素もあるので、公民館が、学校開放の運営委員会をこれから先も継続してできるかどうか、わかりにくい部分もある。しかし、どこかが所管して、地域の皆さんの対応に対して思いを遂げられるような取り組みを進めていきたいと思う。

(企画部長)

完成の青写真の進捗状況ということで、説明させていただく。旧若宮小学校の跡地活用については、昨年度若宮を元気にする会等から、様々な意見をまとめていただき、感謝する。その後、地域の皆さんと行政との意見交換等を踏まえて、人生100年時代へのチャレンジとして、まち、ひと、しごとを再創造するまちづくり「RCC新居浜(Re・Create・Community・Niihama)」、RCC新居浜アクションプランをまとめている。そのなかで、施設活用の基本的な考え方をまとめている。これから、長生きしていただいて人生100年時代を迎えるにあたって、子供さんから大人まで、わくわくしながら暮らせること、幸せを感じながら暮らせること、わくわく続く人生100年を基本理念として、これを普遍化するために、旧若宮小学校施設を活用して拠点整理をしたいと考えている。アクションプランのなかでは、これに使うということは決めていない。あくまでも、活用のイメージということで、子供さんから中高年齢者までのライフステージに応じた学びや体験ができて、

世代間の様々な交流ができるようなイメージということで、一階で感性を育てる、二階で学びを深めて、三階が創作するフロアといったイメージを固めたというところだ。いずれにしても、皆さんが多く集まっていたいで活用できる施設にしたいという思いで、策定していただいているのではないかと考えている。現在、改修に向けた具体的な基本計画を策定しているところだ。それにあたっては、昨年度、地域でまとめていただいたご意見等を踏まえ、当然ながらその計画がまとまるまでには、地域の皆さんと協議をさせていただいて、いずれにしても、多くの皆さんが利用していただける施設として具体的な計画をまとめていきたいと考えている。スケジュールとしては、今年の秋くらいまでに、基本的な考え方・計画をまとめて、その後、工期に入るための実施設計を今年度行い、31年度から工事に入りたいと考えている。

体育館他に、障害者用のスロープ設置計画は含まれているのかという質問については、今の改修工事は、基本的なところでは小学校の校舎について、トイレの改修工事、空調整備工事、エアコン、電気設備工事、あと、エレベーターを設置したいと考えている。体育館については、当面は学校開放で使用することを基本的に考えているが、基本計画の策定作業のなかで、地域の皆さんとの協議を踏まえながら、今後の活用方法について検討していきたいと考えており、その中で、校舎だけではなく、周辺の整備、駐車場の辺りとか、人が歩く導線を安全に快適に利用できるということも具体的に検討していきたいと考えているので、現在のところは、基本的なところを、今、始めたところなので、皆さんと一緒に協力して多くの方が利用していただけるものにしていきたいと思う。

(出席者)

今、説明していただいたのは、三階校舎のことと思うが、赤い屋根の方の二階で、少年少女合唱団が、多目的ホールを使わせていただいている。環境も良くて、参加している児童・生徒が、今、8人ですが嫌がらない。本もあるし、広いので喜んで来ている。最初から言っているが、手を加えないのであれば、早急に空調を入れていただくと、もっともっとニーズが増えるのではないかなと思う。私たちだけではなく、市には女性の合唱団もいますし、音楽だけではなく、いろいろと使えると思うので、ぜひ検討していただきたい。

(企画部長)

ここの校舎を、色んな方のご意見ということで、東京の方のコンサルなど関係者にも来ていただいてお話を聞き、実際に見ていただいているが、この校舎を見て、皆さんびっくりされ、この校舎は素晴らしいですねと言っている。何名もの方からそういうご意見をいただいている。そういう意味でも、ここの校舎の活用は非常に重要になってくると思う。皆さんが喜んでいただいで活用できる方法をとっている。エアコンを先行してという話もあるが、小中学校のエアコンもできていない状況であり、それを何とか早く整備をしたいということで、教育委員会と協力して、今年小学校は設計に入っているが、中学校についても設計をしたいと考えている、全市的な状況なので、こちらを先にということ、なかなか難しいと思っているが、いずれにしても、早く計画を一緒になってまと

めていただいて、工事も早くできれば、それだけ早く進むと思っているので、そのような気持ちで取り組みたい。

(出席者)

この前、コンサートがあったが、西側の階段がしんどかった。あの階段をお年寄りが利用するのであれば、スロープやエレベーターはどこに付けるのか。

(企画部長)

エレベーターについては、後ろ側の校舎の三階建ての方を考えている。

(出席者)

では、あそこのものは、現状のまま？

(企画部長)

今のところはそうだ。

(出席者)

あそこは、若い人であればいいですが、お年寄りにはしんどかった。僕らもしんどかったです。誰をターゲットにするかということですか？

(企画部長)

そうである。それに伴っての利用に合わせることになる。

課題名 (大雨の対策でソフト面の改善を問う)

質疑応答 (要約)

(加地連合自治会長)

昨年の大雨で、王子川が氾濫して、100世帯を超える被害を被った。水門、ポンプ場、河川の整備は、常識の範囲で改修されたと聞くが、想定を超える大雨が予想される昨今、各施設の大幅な能力アップ等の改修は予定がないのか。また、被害当日は、河川の氾濫見込み報告も全くなく、突然にやってきた。地元から、何処に情報連絡すればいいのか、全く検討もつかない状況だった。また、水防本部の方に連絡しても、話中で電話が通じなかった。自治会スタッフも、どういう指示、どういう動きをすればいいのか、さっぱりわからない。その辺の伝達の基準等を作成できているかどうか、お聞きしたい。

(環境部長)

王子川周辺の排水設備施設について、簡単に説明させていただく。金子山の山間部の上流の排水を受け持つのが県の管理している王子川ということと、最下位に王子川の水門がある。王子川に直接流し込むことができないエリアについて、王子川排水ポンプ場、土場雨水ポンプ場がある状況になっている。まず、このうち、王子川と王子川水門、王子川排水ポンプ場については、愛媛県が昭和57年に、激甚災害対策特別事業により整備し、土場雨水ポンプ場については、新居浜市のほうで、平成10年、公共下水道事業により整備した。現在、全国各地で突発的に想定を上回る豪雨が多発しており、線状降水帯により、

長時間にわたってほぼ同じ場所に豪雨が発生したり、梅雨前線に伴う広域にわたる豪雨など、今までとは違った降水状況になっている。

今後、施設の整備に関しては、国においても、多方面から対策を検討していると聞いており、国の動向にも今後注視していきたいと考えているが、直ちに施設的能力をアップすることは、非常に困難な状況と考えている。先ほど質問のあったことについて、具体的に説明していきたいと思う。まず、王子川、各ポンプ場の現有の能力を十分に発揮できるように、それぞれの施設において、長期的な視野での日々の点検、メンテナンスを適切に行うことにより、計画的に改築、更新、修繕等の実施に努めていくこととしている。また、王子川周辺において現在実施している対策としては、愛媛県のほうで河川の土砂堆積の撤去を実施し、機能確保に努めているとともに、新居浜市においても、王子川の排水能力に少しでも余裕が持てるように天端の嵩上げ工事を実施してきた。なお、河川の水位情報が錯綜した、正確な情報が把握できなかったというようなことがあったので、小学校の東側に水位監視カメラを設置し、市のホームページやスマートフォンアプリにより、誰でも、水位状況を確認できるように取り組んでいるところだ。いずれにしても、計画を大幅に超える雨量に対して、直ちにハード整備での対応は困難な状況なので、ソフト対策を中心に実施していただくことになることから、大雨等が予測される際には、市や気象庁から発表される情報に注意していただき、早めの避難を心がけていただきたらと考えている。

(市民部長)

緊急時の連絡については、新居浜市水防本部（65-1349）までお願いしたい。先ほど、連合自治会長さんの方から、話中だったとのことで申し訳なかったが、水防本部には電話が5台ほどあり、それで対応している。緊急時には電話が集中してしまうので、根気強く電話をしていただくことを願います。また、市側からの緊急連絡については、王子川が危険水位を超える恐れがある際には、連合自治会長さん、新田東自治会長さん、新田西自治会長さんへ連絡させていただきたいと考えている。

(加地連合自治会長)

非常に判断は難しいと思うが、情報さえいただきたら、私共も自治会の放送塔を使い、単独に情報を住民に流せたらと思う。あとは、王子川、土場雨水ポンプ場の大幅能力アップは難しいとお聞きした。また、提案もさせていただくが、現状の設備を最有効に活用できるような方法を考えていただきたらと思う。

課題名（通学路の安全対策）

質疑応答（要約）

(加地連合自治会長)

地下歩道から惣開小学校までの通学路で、児童と自転車が対面するので危険なので、自転車歩行者専用道路を廃止し、歩行者専用道路にできないか。

(建設部長)

新居浜市では、平成28年度に、「新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画」を策定して、安全で快適な自転車走行区間を整備しようというような目的で、ネットワーク路線を選定して、自転車はあくまで「車両」という原則に基づき、車道内に自転車の通行位置を明示する自転車走行区間の整備を進めている。祭り明けになると思うが、自転車専用通行帯としての路面表示を車道の路肩部にさせていただこうと思う。そうすると、歩道を自転車が通れないということになるので、舗装の後にはご注意くださいと思う。

(出席者)

今後の予定はどのようなになっているのか。

(建設部長)

予定は、前田派出所からイオンの東側を南下する路線の三差路付近までというのを目標にしてやってまいりたいと考えている。

(出席者)

地下道がある交差点だが、惣開小学校の方から工場に向かう自転車が信号を渡ってきた際に、地下道から上がってきた子供たちとぶつかることになるが、そのあたりはどのようなのか。

(建設部長)

細かい状況がわからないので、もう一回、調査をさせていただき、差し支えないようにさせていただければと思う。